

拡張 DM エディタ バージョン 2.18 更新記録

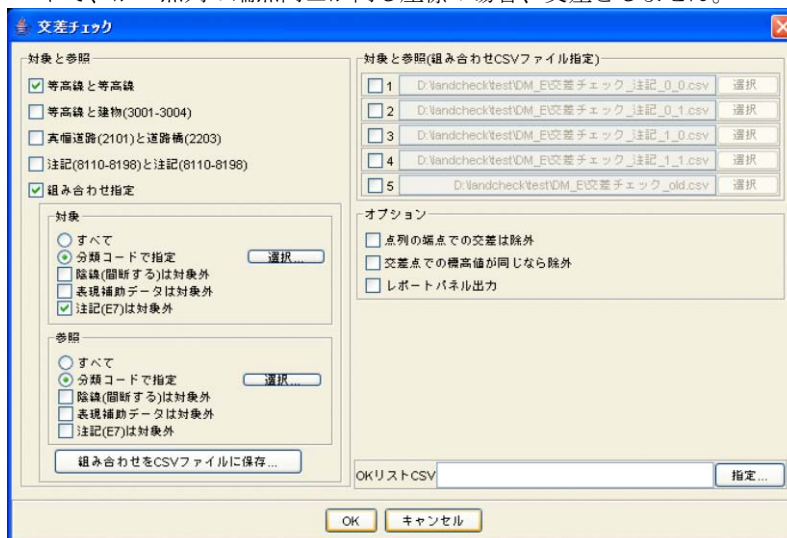
2008/10/03
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 交差チェック

[チェック]-[交差チェック]で等高線(E2)と等高線数値の注記(E7)の交差をエラーとして検出する問題がありました。等高線と等高線、等高線と建物、真幅道路と道路橋の組み合わせについては注記(E7)は対象外とするように変更しました。また、組み合わせ指定でも注記を対象外にするオプションを追加しました。

以下、説明書からの抜粋です。

面(E1)、線(E2)の線、注記(E7)の文字列を囲む矩形の交差および接触を検出します。要素が2次元か3次元を区別しないで、XY座標についてチェックを行います。等高線と等高線、等高線と建物(3001, 3002, 3003, 3004)、真幅道路(2101)と道路橋(2203)の組み合わせ、注記(8110-8198)と注記および任意の組み合わせでチェックします。等高線と等高線、等高線と建物、真幅道路と道路橋の組み合わせについては注記(E7)は対象外です。また、真幅道路と道路橋の組み合わせについては、道路橋で図形区分が表現補助データ(99)になっているものは対象外です。組み合わせ指定ではチェックする要素の分類コードと、参照する要素の分類コードを指定してください。同一分類コードで、かつ点列の端点同士が同じ座標の場合、交差としません。

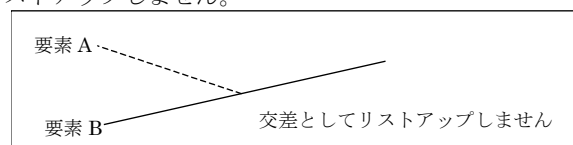


【注記(E7)は対象外】注記(E7)はチェックの対象外にします。

【組み合わせを CSV ファイルに保存】対象と参照の分類コードの組み合わせをファイルに保存します。内容は「15.6. 組み合わせファイル」を参照してください。

【対象と参照(組み合わせ CSV ファイル指定)】指定された CSV ファイルでの対象と参照の分類コードについて、交差チェックを行います。CSV ファイルの内容は「15.6. 組み合わせファイル」を参照してください。

【点列の端点での交差は除外】対象要素あるいは参照要素の点列の始点あるいは終点で接している場合、交差としてリストアップしません。



【交差点での標高値が同じなら除外】交差する要素の交差点での標高値が全て同じ場合、リストアップしません。河川と細流などの合流点でのZ値が一致していない場合などを検出できます。

3次元の要素と2次元の要素が交差している場合、ツールバーの[鉛直方向スケール]を0.00001にすると、全ての要素がほとんど同一平面上に表示されるので確認しやすくなります。

建物と建物の交差については[チェック]-[ポリゴンの重複チェック]を使ってください。

2. 組み合わせ CSV ファイル

組み合わせ CSV ファイルに項目「注記は対象外」を追加しました。以前の組み合わせファイルを参照した場合、中期は対象外は OFF になります。

以下、説明書からの抜粋です。

[チェック]-[交差チェック]で、対象となる要素の分類コードと参照する要素の分類コードの組み合わせを CSV ファイルで指定できますが、その CSV ファイルの内容を説明します。

	A	B	C	D	E	F
1	分類コード組み合わせ	1				
2	対象:陰線は対象外	参照:陰線は対象外	対象:補助図形は対象外	参照:補助図形は対象外	対象:注記は対象外	参照:注記は対象外
3					1	1
4	対象\参照	7101	7102			
5	7101	1	1			
6	7102	1	1			

1 行目はヘッダです。1 行 2 列はこのファイルのバージョンを表します。

2 行目は 3 行目のオプションの説明で、3 行目がオプションの設定です。空白の場合 OFF、空白以外の場合 ON です。

列	内容
1	対象要素について、陰線(間断区分=0 以外)はチェックの対象外にする
2	参照要素について、陰線(間断区分=0 以外)はチェックの対象外にする
3	対象要素について、図形区分が補助図形(=99)はチェックの対象外にする
4	参照要素について、図形区分が補助図形(=99)はチェックの対象外にする
5	対象要素について、注記(E7)はチェックの対象外にする
6	参照要素について、注記(E7)はチェックの対象外にする

4 行目の 1 列目はコメントで、2 列目からが参照する要素の分類コードです。分類コードの数に制限はありません。

5 行目からがチェックの対象となる要素の分類コードとチェックするしないの指定です。

列	内容
1	チェック対象の要素の分類コード。4 桁の整数。
2 列目以降	空白の場合、チェックしない。 空白以外の場合、4 行目の分類コードで指定された要素を参照し、チェックする。